

テーマ：観光（実践校）

石狩管内 当別町立西当別中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさと当別町に対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間等での学習の中で、当別町の観光資源を調査したり、他の地域の特徴と比較したりしながら多面的・多角的に考察し、学習したことを発信する活動を位置付け、探究的な学習の充実を図りました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

年度の当初に、自分たちが生活する当別町についてより深く理解することをねらいとして、自分たちでオリジナルの観光パンフレットの作成を進めるとともに、地域に主体的に関わっていくことを意識することができるよう、個人課題の設定を行いました。

(2) 情報の収集

昨年度取り組んだ調べ学習の成果を生かし、当別町の観光パンフレットやホームページを活用し、当別町を詳しく調べる学習活動を行いました。また、当別町において、総合的な学習の時間を小・中学校9年間を通した「当別未来学」として体系的に編成していることを踏まえ、小学校で学んだ当別町の自然地形や産業、人々の生活、歴史等に関わる学習を生かして、中学校ではフィールドワークに重点を置き、学習を進めました。

(3) 整理・分析

地域に主体的に関わっていく資質・能力の育成を目指し、生徒が情報を受け取る相手を意識して整理・分析することができるよう、同じ施設を訪問した生徒同士でグループとなり、調査した内容やまとめ方について話し合いました。

(4) まとめ・表現

学習の成果として、施設ごとに紹介するパンフレットを作成し、廊下に掲示するとともに、学級ごとに冊子を作成し、観光パンフレットとして家庭や地域に配付しました。

②生徒の感想等

- ・当別町には、自分たちが訪問したことがない施設がたくさんあり、新たな魅力を発見することができました。
- ・これまで以上に自分たちの住む地域に誇りをもてたので、当別町のよさをもっと広めたいです。



【フィールドワークの様子】



【観光パンフレットの展示の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- フィールドワークに重点を置き体験的な活動を充実させたことにより、学習後のアンケートの記述において、当別町の新たな魅力に触れている生徒が増えるなど、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことができました。
- 取組を通して地域の行事への関心が高まり、日常生活の中で広報誌等を読み、情報収集する生徒や、観光資源の開発を通して地域へ貢献したいと考える生徒が増えました。
- 今後も継続してふるさとのよさを感じ、学んだことを発信していく学習を行うことができる環境を、学校・家庭・地域が連携し、より一層整えていく必要があります。